

グリーンフィールドオータムフェスティバル 野津田公園で地域、団体、企業が初の複合型イベント

2018年10月16日掲載



「グリーンフィールドオータムフェスティバル with Volkswagen Tokyo Machida」の様子

町田市野津田町の市立野津田公園で2018年9月23日、まちだ〇ごと大作戦の野外型イベント「グリーンフィールドオータムフェスティバル with Volkswagen Tokyo Machida」が晴れ渡る秋空の下で開かれました。地域、団体、企業が連携して実施した同公園で初の複合型イベントに、市内外から多くの来場者が訪れました。

このイベントは、お台場や辻堂で行っていたカーショーのイベント主催者が新たな開催場所を探していたところ、公園の新たな賑わいを模索していた野津田公園の指定管理者とコンセプトが一致し実施する初めての取り組みになります。

陸上競技場内の普段立ち入ることが制限されている天然芝ピッチでは、町田市をホームタウンにするサッカーチーム「FC 町田ゼルビア」のサッカー教室や、ラグビートップリーグに所属する「キャノンイーグルス」のラグビー教室をは



「キャノンイーグルス」のラグビー教室

はじめ、リズム体操やヨガが実施されたほか、トラック上ではスポーツライミング、スピードボールやユニカールといったニュースポーツなどお年寄りから子どもまで楽しめるさまざまなスポーツ体験コーナーがあり、更に、この日のために設けられたステージでは、市内で活躍するアーティストによるライブステージも繰り広げられました。

一方、公園部分では、全国からドイツの新旧フォルクワーゲンの名車が集結するカーショーを中心に、町田産の食材を楽しめるフードコーナー、フリーマーケットが出展。町田消防署によるはしご車の乗車体験や防災食を提供する「救済食堂」など、さまざまな楽しみ方ができるイベントが開催されました。



新旧フォルクスワーゲンが集結するカーショーの様子

企業が主体となり、地域や団体と連携した「まちだ〇ごと大作戦」ならではの取り組みに、石坂丈一市長は「〇ごと大作戦では、企業と地域、団体がつながって、市役所がバックアップすることで安心感を持ってもらえるようにしたい。今回のような大きなイベントが行われることで、『〇ごと大作戦って楽しそう』というイメージを持ってもらい、事務局が困るぐらい多くのアイデアが集まってほしい」と笑顔で話しました。



フードコーナーで、笑顔で話す石坂丈一町田市長

ステージイベントを企画した「まほろ座」の通称“必殺仕掛人”でバンド「キンモクセイ」のギターの佐々木良さんは「プロからアマチュアまで町田に根付いたアーティストに参加してもらいました。自然に恵まれた環境の中で、スポーツ体験などさまざまな企画と一緒にステージができるのはとてもいいと感じました。〇ごと大作戦でも『音楽フェスをやりたい』というアイデアがたくさん出されていますので、こうしたイベントをきっかけにみんなで手をつないで一つになれると



ステージイベントを企画した「まほろ座」の佐々木良さん

いいですね」と語りました。

イベントの実行委員長を務める野津田公園指定管理者「スポーツパークパートナーズまちだ」の石川宏幸・所長代理は「これまでの野津田公園といえば、サッカーJ2 やラグビートップリーグなどのスポーツイベントだけでしたが、フォルクスワーゲンのイベントが会場を変えて野津田公園で開催ということきっかけに、市内最大の公園の魅力を多くの方に知っていただこうと、初めての複合型イベントを開催しました。〇ごと大作戦ということで、企業や地域の方々、スポーツチームも快く協力していただけました。唯一心配だった天候もよく、素晴らしいイベントとなりました」と手応えを感じていました。



イベントの実行委員長を務めたスポーツパークパートナーズまちだ」の石川宏幸・所長代理」

参加者からは「お祭り気分で見歩けた」「とても賑やかで楽しかったので、毎年続けてほしい」「緑豊かな場所でのイベントで楽しく、子どもが喜んでいました」などの声が多数寄せられました。



天然芝ピッチでサッカー教室が行われる中、セッティング中のステージ



会場に置かれた町田消防署のはしご車



会場内に設けられたオートキャンプ場